

R3 岩船米生育速報(7月20日現在)

村上農業普及指導センター

梅雨明け前の曇天・高夜温で前回調査の稲姿から一変！長草化傾向に！
出穂期の葉色を淡くしないよう出穂10日前の穂肥は確実に！

生育概況

草丈：長い 茎数：やや多 葉数の進み：やや早い
葉色：並～やや濃い(ほ場間差大)

- 7月前半の梅雨明け前までの高夜温・少照で上位葉が伸長し、草丈は長めとなっている。
- 7/14の梅雨明け後無降雨が続き、全般的に褪色が大きい。一方で、生育が後ずれしたほ場や基肥一発ほ場で、葉色が濃いほ場が見られる。
- コシヒカリの出穂期は、平年に比べ2日程度早まる見込みである。

当面の管理のポイント

コシヒカリは、倒伏が心配されるので、1回目穂肥は生育診断に基づき慎重な対応を！

2回目穂肥は、葉色低下したら草丈長くても確実に施用しましょう！

- 現在、概ねコシヒカリの1回目の穂肥時期(出穂18日前)を迎えております。草丈が80cmを超えている場合は、1回目穂肥を3日程度遅らせましょう。
- 後期栄養を維持し登熟の向上と品質低下を防止するため**2回目の穂肥は、出穂期に葉色(SPAD値32~33)が確保できるよう、出穂10日前頃に確実に施用しましょう。**(1回目穂肥を遅らせたほ場は、その1週間後に2回目を施用しましょう。)
- 7月上旬の管内病害虫調査では、斑点米カメムシ類の発生量が多い状況です。斑点米被害を防止するため、**畦畔等の草刈りと出穂後の薬剤防除を徹底しましょう。**

【コシヒカリ】

調査場所	施肥体系	草丈(cm, %)			茎数(本/m ² , %)			葉数(葉)			葉色(SPAD値)		
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差
山北(大毎)	一発	77	107%	104%	489	115%	125%	12.4	1.2	1.1	31.5	-1.5	-1.9
朝日(川端)	一発	85	115%	109%	496	115%	86%	13.2	1.0	1.2	33.4	0.4	-0.4
村上(鑄物師)	一発	84	116%	112%	496	113%	93%	12.9	1.2	1.6	37.6	5.6	-1.6
神林(牛屋)	分施	78	111%	101%	297	76%	77%	12.0	0.5	-0.7	28.9	-3.6	-3.6
荒川(名割)	分施	86	116%	107%	474	116%	109%	12.2	0.7	0.9	38.4	4.7	-0.9
関川(下関)	分施	77	107%	112%	513	122%	128%	11.9	0.2	0.4	36.6	2.1	-2.5
平均		82	113%	107%	448	107%	98%	12.5	0.7	0.6	34.1	0.9	-1.8

○平均は水稻作付面積に応じて、加重平均を出しています。

問い合わせ先: 村上農業普及指導センター

TEL : 0254-52-7930 E-mail : ngt111240@pref.niigata.lg.jp